

はま風



2月号 令和5年2月24日発行

校訓
好學愛知
不撓不屈
切磋琢磨

悪いことは身から出た錆さび いいことはおかげさま

市来中学校 校長五反田晴夫

万能細胞と呼ばれるiPS細胞の作製に世界で初めて成功し、ノーベル賞を受賞した山中伸弥先生（京都大学細胞研究所名誉教授）を知っていますか。ヒトの皮膚などの体細胞に初期化因子を導入して作製する人工多能性幹細胞（induced pluripotent stem cell: iPS細胞）は、体のほぼすべての細胞に変化する能力と、ほぼ無限に増殖する能力を獲得した多能性幹細胞です。世界中で難病と闘っている人たちにiPS細胞技術から出発した細胞・医薬品が次々と届けられつつあります。

山中先生の座右の銘が「悪いことは身から出た錆 いいことはおかげさま」です。「身から出た錆」は江戸いろはかるたの中に出てきます。「身」は「自分自身。鞘（さや）に閉まっている刀の部分」の意味で、「錆」は「空気に触れ、金属の表面にできた酸化物」という意味です。つまり「身から出た錆」は「刀身そのものから生じた刀の錆によって、刀の価値を失うこと」という意味です。

普段から刀の手入れをしておかないと錆によって刀が切れなくなってしまい、必要な時に使い物にならず、このことが原因で、最悪自身の命を落とすことにもなります。そこから、刀身を我が身と例えて、自分の悪い行いで、自分に災いがふりかかることを「身から出た錆」と使います。

私たちは、何か悪いことが起こると他人のせいと考えがちで、自分の間違いを認めにくいものです。また、いいことがあると自分だけで成し遂げたようにふるまうことがあります。

しかし、山中先生は失敗や成功を経験する度に、「悪いことは身から出た錆 いいことはおかげさま」と考えるようにしているそうです。悪いことは、自分自身に足りない部分があることを素直に認め、改善したり努力したりすることで、失敗を乗り越えて、前向きにチャレンジすることができるのではないのでしょうか。また、いいことは、自分だけの手柄と考えず、自分を支えてくれた周りの人のおかげであると考え、感謝を忘れず謙虚に研究を進めることができるのだと思います。

ノーベル賞受賞後もひたむきに研究を続ける山中先生の「悪いことは身から出た錆 いいことはおかげさま」は、私たちの生き方や心構えに示唆を与える言葉です。



3月の主な学校行事予定

2日（木）公立高校一般入試（国理英）	11日（土）3年クラスマッチ
2年クラスマッチ	13日（月）卒業式予行
3日（金）公立高校一般入試（社数面）	14日（火）第76回卒業式
1年クラスマッチ	15日（水）公立高校合格者発表
10日（金）3年同窓会入会式	24日（金）修了式・辞任式



◎ 市来中学校の最新情報は、

ホームページ

<http://www12.synapse.ne.jp/ichikit/>



系統的・継続的な進路学習

市来中学校では、3年間をとりおした系い
統的・継続的な進路学習を取り組んでい
ます。この時期、1年生は「職業」に関
する調べ学習、2年生は「上級学校」と
関する調べ学習、3年生は入試対策とし
て「面接練習」と発達段階に合わせた学
習をしています。先日、1・2年生ではあ
りまして、今後、卒業後の進路だけであ
らず、学校の教育活動全体をおして出し
て、生徒一人一人の能力や適性を見出し
、生徒が自主的に進路を選び、達成す
る能力や態度の育成を図って参ります。

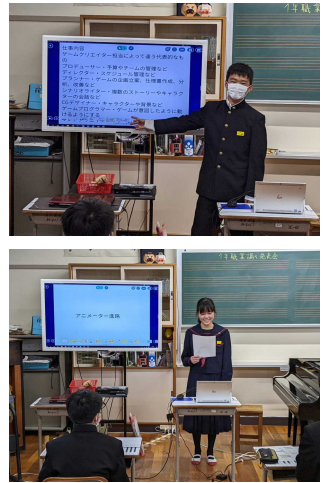
○ 2年高校調べ

15校の高校について調べたことを発表しました。自分の調べた学校だけでなく、他の人が調べた高校についても、知らなかった情報がたくさん聞けたのではないかと思います。今後、積極的に情報を収集しましょう。



○ 1年職業調べ

約40種類の職業について調べ、グループに分かれて発表を行いました。発表する人、クイズや具を用いた人、例を引く人、興味を引く人、どの職業も素晴らしく、発表も大変な発表となりました。



○ 3年面接練習

入試や入社試験など、面接は生活の一部です。面接の機会が立ち上がるにつれて、面接の準備が大切です。面接の準備は、面接の準備が大切です。



高校生による進路講話

2月9日に『高校生による進路講話』を開催しました。市来中学校の3名が、市来中学校の先生や先輩の講話を聞き、進路について学びました。市来中学校の先生や先輩の講話を聞き、進路について学びました。



「若い目」掲載

1月31日の南日本新聞「若い目」に2年生の坊野絢香さんの作品が掲載されました。おめでとうございます。

継続は力なり
市来中2年 坊野 絢香

私はどんなことでも行い続けられれば成果が表れるという意味の「継続は力なり」を今年は大切にしたいです。学習面は受験に向けて勉強のペースを上げる必要があります。1、2年生の復習と3年生の勉強を両立させる一日を大切に、一生心に残る思い出をつくりたいです。部活動は仲間と切磋琢磨し、互いに成長できるように頑張りたいです。友達と市来中で一緒に過ごせるのも残りわずか。一日一日を大切に、一生心に残る思い出をつくりたいです。

立てるのは簡単でも達成は難しいと思います。頑張ればできる目標を立てて無駄な時間を減らし、小さな努力を積み重ねられるよう心がけます。

「継続は力なり」を胸にどんなことも諦めず努力し、後悔が残らない一年にしたいと思えます。(いちき串木野市)

若い目

クイックリラクゼーション

2月の生徒会保健部の活動として、『クイックリラクゼーション』に取り組んでいます。気分を落ち着かせたり、体の不調を和らげたり、家庭でも試してみてください。

